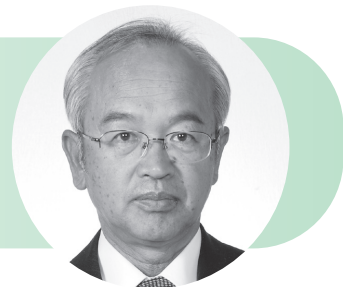


平野 広行 議員



プレミアム付き商品券の発行で、地域経済活性化を

問

- 1万円で1万1千円の買物ができる、プレミアム付き商品券について聞く。
- (1) 市と商工会、販売店の3者で話し合い、発行で地域経済の活性化を図ってはどうか。
 - (2) 具体的な認識を聞く。

商工会事業として支援したい

答 市長

- (1) 市、商工会と一緒に研修協議を重ね、早い機会に商品券を実行していきたい。
- 答 商工観光課長
- (2) 商工会の地域振興策の一つであると思っている。市として引き続き、商工会が取り組む事業の一つとして、支援していきたい。

中央道と23号交差の車線拡幅を

問

- 湾岸地区の物流ルートについて聞く。
- (1) 交通量
 - (2) 道路工事の進捗状況

- (3) 中央幹線が工事中の場合の迂回対策について聞く。
- (4) 西尾張中央道と国道23号の接合部に、北進は1車線拡幅が必要ではないか。
- (5) 市道の中央幹線に、津波から避難できる歩道橋を設置してはどうか。

状況を見て県に要望していく

答 土木課長

- (1) 西尾張中央道は1日当たり約1万8千台である。
- (2) 西尾張中央道から南進する臨港道路(鍋田ふ頭進入道路)は、3月に暫定2車線の供用開始が予定され、4車線化は28年3月末と(名古屋港管理組合より)聞いている。

名古屋第三環状線は、伊勢湾岸自動車道から国道23号までの約2.4kmは、鍋田地区の約1kmは供用開始され、その延伸の境地区は用地交渉が順次行われており、計画的に(県が)工事着手することになっている。

稲荷崎、中原、富島地区は説明会が終わり、用地測量が発注され、25年度は用地取得すると聞いている。

中央幹線道路は、国道23号と伊勢湾岸自動車道区間約3kmの約50%が、24年度完了予定である。

引き続き未整備区間の早期完成を図っていく。

(3) 大型車両が市道を通行しないよう案内看板等で誘導するとともに、他の広域

- 幹線道路への迂回を、市から名古屋港管理組合へ依頼している。
- (4) 時間帯によって渋滞を招く状況があり、車線数の増加は必要と考えている。今後の交通状況を見ながら、県へ交差点改良の要望をしていく。
 - (5) 土地買収の問題もあり、考えていない。



▶整備の進む鍋田ふ頭進入道路
(写真後方「八穂クリーンセンター」)